

中心静脈栄養チューブ管理トレーナ

TPN Patient Care Training Simulator

取扱説明書

KYOTOKAGAKU CO., LTD

目 次

はじめに	P. 2
必ずお読みください	P. 2
製品概要	P. 3
ご使用方法	
皮膚の着脱	P. 4
ドレッシング材の交換	P. 4
カテーテルの挿入位置変更（再挿入）	P. 5
ご使用上の注意	P. 6

はじめに

このたびは、当社の「中心静脈栄養チューブ管理トレーナ」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品は、中心静脈栄養チューブ（カテーテル）の管理を目的としたシミュレーションモデルです。医学・看護教育用の補助機器としてご使用ください。

モデルの特徴

- 透明穿刺部には、骨格（鎖骨・第一肋骨・第二肋骨）、静脈（鎖骨下静脈・内頸静脈～上大静脈）、動脈（鎖骨下動脈・総頸動脈～大動脈の上行部）、肺が配置されています。
- 鎖骨下静脈・経鎖骨上鎖骨下静脈・内頸静脈にそれぞれカテーテルを挿入することができ、皮膚を外すことでその原理を目視で知ることができます。
- 心臓部の三尖弁が、赤く着色されています。

必ずお読みください

本製品は、医学・看護教育を目的として製作されたモデルです。本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。

また、説明書に記載された方法以外でのご使用による万が一の破損や事故の場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用上の注意を必ずお読みになってからご使用ください。

必要以上の力を加えたり、落下させますと破損等の原因となりますのでご注意ください。

ご使用の際に不具合等がございましたら、お手数ですがお買い求めの販売店もしくは株式会社京都科学までご連絡ください。

（連絡先はこの取扱説明書の裏表紙に記載されています）

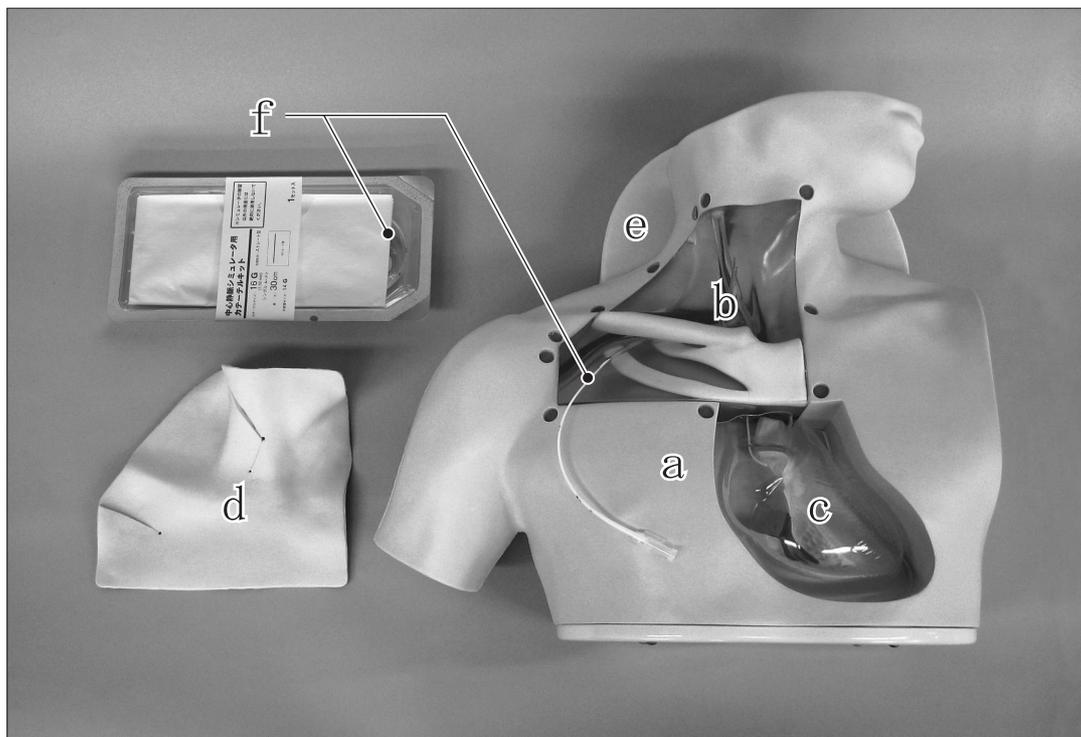
製品概要

仕様

材質：軟質特殊樹脂・硬質樹脂

大きさ：成人男性上半身・実物大

製品構成（各部名称）

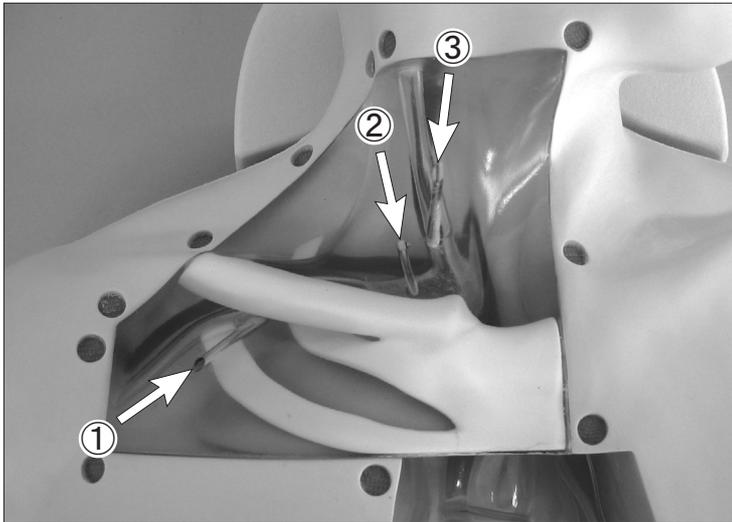


- a. モデル（ボディ）…………… 1
- b. 透明穿刺部パッド…………… 1
- c. 心臓透明カバー…………… 1
- d. 皮膚…………… 1
- e. 頸部固定台…………… 1
- f. 中心静脈注射用カテーテルキット…………… 2
(1本はモデルに挿入されています)

※梱包内容をご確認ください。

ご使用方法

このモデルでは、以下の3ヶ所で中心静脈栄養チューブ管理とケアをトレーニングできます。



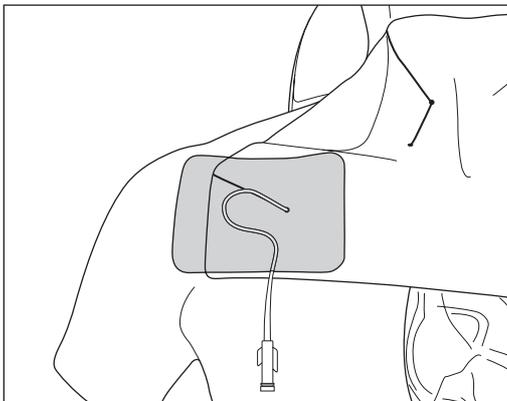
- ①鎖骨下静脈
- ②経鎖骨上鎖骨下静脈
- ③内頸静脈

■皮膚の着脱

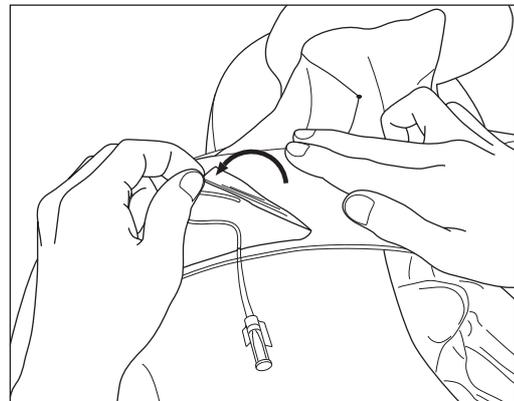


- ・皮膚の穴位置と透明穿刺部パッドの穴の位置をあわせ、マジックテープを固定していきます。
- 取り外す場合は、一つずつマジックテープを外しながら、ゆっくりとはがします。一度にはがすと、皮膚を損傷する場合があります。

■ドレッシング材の交換

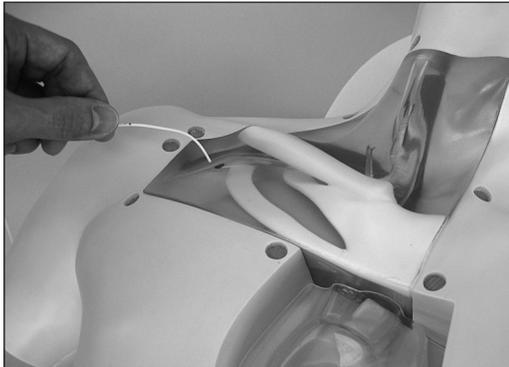


- ①ドレッシング材を貼るところを水等で拭き、よく乾かしてから貼ってください。

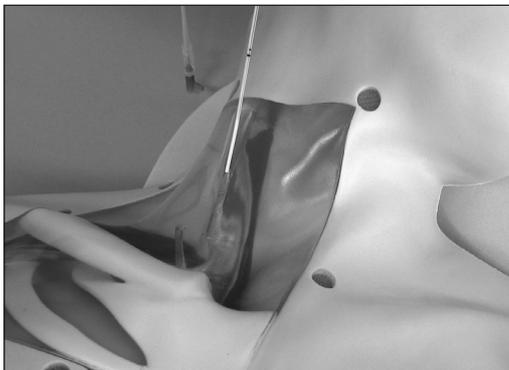


- ②はがす場合は、片方の手で皮膚を押しさえながら、皮膚の外側にむかってゆっくりとはがしていきます。

■カテーテルの挿入位置変更（再挿入）



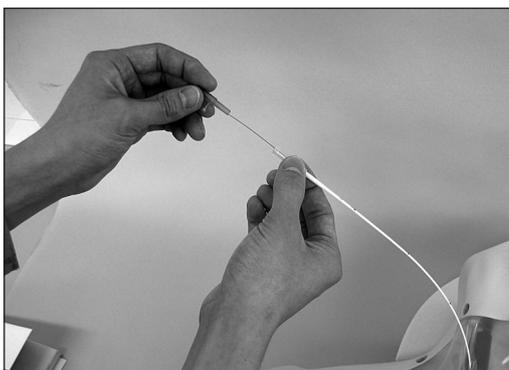
①カテーテルを透明穿刺部パッドからゆっくりと引き抜きます。



②透明穿刺部パッドの穴にあわせカテーテルの先端をゆっくり挿入していきます。（このとき、スタイレットがカテーテルにセットされているか確認してください。）



③カテーテルが引っ掛かったときは、無理に押し込もうとせず少し抜いてからもう一度ゆっくり挿入してください。引っ掛かったまま無理に挿入しますと、透明穿刺部パッドを損傷する恐れがあります。



④カテーテルを所定の位置に挿入できたら、スタイレットを抜き取ります。

ご使用上の注意

- ・ 特殊軟質樹脂を使用しているため、無理な脱着・取扱いをされた場合破損の原因となります。実際同様やさしく扱ってください。
- ・ 皮膚部は印刷物を密着させたり、サインペン・ボールペン等で書き込まないで下さい。モデルに付いたインクは消すことができません。
- ・ 皮膚はイソジン等で消毒の練習はできますが、付着した色は消せませんので水などで練習を行ってください。汚れた場合は別途お求めください。
- ・ ボディや皮膚表面の汚れは水を含ませた布またはウェットティッシュにて拭き、乾燥してからベビーパウダを塗布しておいてください。
- ・ 透明穿刺部パッドの汚れは水を含ませた布またはウェットティッシュにて拭き取ってください。透明度が損なわれますので、ベビーパウダーは塗布しないでください。
- ・ ボディ・皮膚・透明穿刺部パッドの汚れをシンナーやアルコールなどを使用して拭き取ることは絶対におやめください。
- ・ 長期間使用されますと、ボディ・皮膚及び透明部が変色することがありますが、ご使用には差し支え有りません。
- ・ カテーテルを抜いてしまった場合、穿刺孔より手で押し込むことはできませんが、うまく上大静脈に入らない場合は穿刺しなおすことをおすすめいたします。このとき、あらかじめ開いている穿刺孔以外には絶対に刺さないでください。
- ・ モデルの保管場所は、高温多湿や直射日光のあたる場所は避けてください。
- ・ 付属のカテーテルキットは、シミュレータの練習以外の用途で絶対に使用しないでください。
- ・ 付属のカテーテルキットより太い注射針やカテーテルを使用されますと、パッドの耐久性が著しく損なわれる恐れがありますので、おやめください。

- ・本製品についてのお問い合わせや不具合等ございましたら、
お手数ですがご購入の販売店、または下記までご連絡下さい。



本社工場 〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL : 075-605-2510 FAX:075-605-2519

東京支店 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL : 03-3817-8071 FAX:03-3817-8075

ホームページURL : <http://www.kyotokagaku.com>

Eメールアドレス : rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp